

平成29年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策4 高齢者支援の充実

【会計】介護保険特別会計

施策3 多様な生活支援サービス提供体制の整備を推進します

3款:地域支援事業費 3項:包括的支援事業・任意事業費 1目:包括支援事業費

事業	38	生活支援体制整備事業
担当所属		高齢者福祉課

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
27,117千円	5,965千円	10,576千円	5,288千円		5,288千円

【事業の概要】

事業の概要	高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進していくため、日常生活圏域を中心に生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置します。また、生活支援等サービスの各提供主体が情報を共有し、連携強化を図るための協議体を設置します。
事業の目的	市が中心となって、生活支援等サービスを担う事業主体(NPO, 民間事業者等)と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とします。
事業の効果	生活支援等サービスの提供体制を整備することで、高齢者が住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
講師謝礼	90千円	生活支援体制整備に関する講演会3回分(対象:市民、ケアマネ)
9 旅費		
普通旅費	10千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	20千円	書籍購入費及び事業用消耗品(講演会関係)
食糧費	3千円	講演会講師弁当及びお茶代
印刷製本費	684千円	生活支援コーディネーター周知用チラシの印刷(5,000枚) (仮)地域支え合いリストの印刷(10,000部)
13 委託料		
高齢者の生活支援コーディネーター等事業委託料	26,310千円	市内5か所の地域包括支援センターに配置
計	27,117千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成29年度計画値
生活支援コーディネーター(第2層)の配置数	5人
第2層(日常生活圏域)協議体(会議)の開催回数	20回
第2層(日常生活圏域)協議体(会議)の参加団体数	5団体(者)
高齢者福祉(在宅福祉)サービスが充実していると感じる市民の割合	35%